

実務経験のある教員等の一覧

(医療専門課程看護学科) 新カリキュラム									
授業科目名	授業科目概要	単位数	授業時数	教員		実務経験等			
				専任	兼任				
1 栄養学	看護、治療における栄養管理の重要性について考える。まず基礎的なところから栄養素とは何かそのはたらきについて。食物の消化・吸収、体内代謝。乳児期から高齢者までのライフステージ別の栄養管理。実際の看護業務に関わってくる患者の栄養管理においては、栄養状態の評価・判定、栄養ケア・マネジメント、チーム医療まで幅広く学習する。また近年の栄養補給方法や、数多い栄養剤についても知識を身につける。臨床栄養においては病院食から始まり各疾病別に食事療法の実践を学ぶ。	1	30		○	管理栄養士			
2 病理学	病理学とは、生体に起こる病的な状態(病気・疾病)の本体を追求する学問であり、病気を起こす原因、それぞれの病気で生じてくる変化、その経過、その結果たどる転帰を一本の流れとしてとらえる学問である。病気を総論的な視点からおよび各臓器において把握することに主眼を置いて理解できるようにする。	1	30		○	口腔外科医師			
3 薬理学	教科書に沿って総論から各論の内容を講義する。薬剤の分類、特徴、副作用について、疾患について学んでもらう。プリントを中心に授業を進めていき、最後に毎回確認問題を解いてもらう。また、特殊な器具の使用方法については実践も交えて講義を行う。	1	30		○	薬剤師			
4 疾病と治療Ⅰ (脳・神経/運動)	人体の構造と機能をふまえ、脳・神経系/運動系に発生する疾病のしくみ、主な疾病の症状や病態生理、検査の方法、治療法に関する基礎的知識を学ぶ。	1	30		○	内科医師 整形外科医師			
5 疾病と治療Ⅱ (呼吸器/循環器)	人体の構造と機能をふまえ、呼吸器系/循環器系に発生する疾病のしくみ、主な疾病の症状や病態生理、検査の方法、治療法に関する基礎的知識を学ぶ。	1	30		○	呼吸器内科医師 循環器内科医師			
6 疾病と治療Ⅲ (消化器/内分泌・代謝)	人体の構造と機能をふまえ、消化器系/内分泌・代謝系に発生する疾病のしくみ、主な疾病の症状や病態生理、検査の方法、治療法に関する基礎知識を学ぶ。	1	30		○	消化器内科医師 内分泌代謝内科医師			
7 疾病と治療Ⅳ (血液・造血/アレルギー・膠原病・感染症)	人体の構造と機能をふまえ、血液・造血/アレルギー・膠原病・感染症が発生する疾病のしくみ、主な疾病の症状や病態生理、検査の方法、治療法に関する基礎的知識を学ぶ。	1	30		○	内科(肝・血液)医師 内科(アレルギー・感染症)医師			
8 疾病と治療Ⅴ (腎・泌尿器/女性生殖器)	人体の構造と機能をふまえ、腎・泌尿器/女性生殖器に発生する疾病のしくみ、主な疾病の症状や病態生理、検査の方法、治療法に関する基礎的知識を学ぶ。	1	30		○	腎・泌尿器科医師 産婦人科医師			
9 疾病と治療Ⅵ (皮膚/眼/耳鼻咽喉/歯・口腔)	人体の構造と機能をふまえ、感覚器系に発生する疾病のしくみ、主な疾病の症状や病態生理、検査の方法、治療法に関する基礎的知識を学ぶ。	1	30		○	皮膚科医師 眼科医師 耳鼻科医師			
10 医学概論	生と死、健康を見つめ、医療と看護の原点を考えてもらいます。次に、人類の歴史における医療の変遷を知り、現在のわが国の医療サービスの体制の現状と問題点を探ります。また、高度に専門化し、進歩を続ける医療が「ひと」や「社会」に及ぼした影響を見つめる一方、急速に進行する高齢化などの社会の変化が、医療に与える影響も考えます。そして、現在の医療現場に求められているチーム医療やケアの実践における看護師の重要性を解説します。	1	15		○	外科医師			
11 公衆衛生学	社会と背景に関する諸問題について、その概要を理解し説明できるようになる。エッセンスから活動対象を学びその仕組みを理解する。また、環境と健康の観点から国際保健まで視野を広げ集団の健康を考える。そして、学校と健康、職場と健康、と身近な問題と課題について学ぶ。	1	15		○	歯科医師			
12 情報と医療	看護としての専門性をより発揮するうえで「情報」とは何かを知り、医療における情報を学ぶ。患者にもっとも近いところで接する看護師は、そこから得られる様々な情報をもとに、医療チームとコミュニケーションをとり、情報共有を図ることが重要となる。「情報」の特性を学び、新しい情報を取り入れ、よりよい意志決定に結びつけ、看護の実践に活かせるようにする。	1	15		○	診療情報管理士			
13 社会福祉	社会の情勢が日々大きく変化しようとしている中で、看護師は社会の動きを幅広くとらえ、国や地方、法や政策、社会福祉や社会保障が何を行おうとしているのかについて学ぶ必要性が高い。看護の目的には人々が健康で生活をより良いものと向上を目指すことにあるため、疾病や精神の成り立ちやどのように生活をするかということに常に念頭に置き、社会福祉の概念を歴史的変遷から学び、福祉	1	30		○	医療ソーシャルワーカー			
14 関係法規	保険医療に関する基本理念、関係制度、関係する職種の役割を学び、生活者の健康を守るための基本的な法規と関係職種の役割・機能について理解する。	1	30		○	医療事務職(管理者)経験者			
15 家族看護論	家族看護学の発展の歴史を理解し、さまざまな視点から家族をとらえ家族の持つセルフケア能力を引き出す家族看護実践を行うための基礎的能力(知識・技術・態度)を養う。特に健康問題に関して、家族を1単位として捉え、家族が持てる力を発揮し、問題解決能力を高める援助方法を理解する。この科目では、家族および、家族関係についての理解を深め、家族への支援の方法を健康段階ごとに学び、さらに病と家族の苦悩についての理解を深めることを目的とする。	1	30		○	看護師実務経験者			
16 看護学概論	「看護とはなにか」という看護の基本となる概念を学び、「看護とは」と探求し続ける姿勢を身につけ、看護の対象理解や看護倫理、看護教育、看護管理の基礎的な学習から進める。看護専門職としての役割と機能について理解を深め、保健医療福祉チームにおいて調整者としての役割が発揮できるように必要な知識	1	30		○	看護師実務経験者			
17 看護理論と看護研究の基礎	看護理論は看護学のメタパラダイムを構成する4つの主要概念である人間・環境・健康・看護を記述し、関連づけてモデルに現し、説明している看護理論家の看護を学ぶ。本授業では専門職として看護を探究し、保健医療福祉チーム内で役割を発揮するために必要な能力について考える。また、看護職者の倫理、保健・医療・福祉における看護における共通の基本技術について学びます。	1	30		○	看護師実務経験者			
18 基礎看護技術Ⅰ	看護における共通の基本技術について学びます。	1	30		○	看護師実務経験者			

19	基礎看護技術Ⅱ	人間にとっての「清潔・衣生活」「食事」「排泄」の意義を理解し、看護における日常生活援助の基本的知識・技術について学びます。	2	60	○		看護師実務経験者
20	基礎看護技術Ⅲ	科学的思考に基づき、対象の健康問題に対する看護過程の展開を学びます。	1	30	○		看護師実務経験者
21	基礎看護技術Ⅳ	健康段階および障害の特徴を理解し、健康状態に応じた基本的知識・技術について学びます。	1	30	○		看護師実務経験者
22	基礎看護技術Ⅴ	診療に行ける看護の役割を理解し、治療、検査、処置などに必要な基本的知識・技術について学びます。	1	15	○		看護師実務経験者
23	基礎看護技術Ⅵ	診療における看護師の役割を理解し、治療・検査・処置に必要な基本的な知識・技術を習得する。治療・検査・処置は侵襲を伴う事、事故防止対策を十分に理解する。また、患者役を体験することで患者の心理を理解できるようにする。	2	60	○		看護師実務経験者
24	基礎看護技術Ⅶ	対象の身体を見るためのフィジカルアセスメントは、基本的な看護技術です。系統的に患者さんの全身状態を把握する方法を学習します。今回の講義では、特に消化器系・呼吸器系・循環器系のフィジカルイグザミネーションのフィジカル習得を目指します。	1	15	○		看護師実務経験者
25	地域・在宅看護論概論Ⅰ	地域で暮らす人の生活を知り、「地域」の社会資源やその活用状況を評価し、地域包括ケアシステムの一員である看護師としての役割を考える。また、自助、互助の観点から、「ボランティア活動」をテーマに、その活動の意義や活動との繋がる方法を学ぶ。	1	30	○		看護師実務経験者
26	地域・在宅看護論概論Ⅱ	我が国の現状を踏まえた地域・在宅看護の展望と今後の課題を学ぶ。また、在宅看護の対象となる在宅療養者とその家族の理解を中心に、対象が暮らす「地域」在宅での生活を維持するために必要な支援と医療ケアを必要とする在宅療養者への医療的支援である訪問在宅看護の対象である療養者とその家族・介護者の特徴やニーズ発達段階、疾患、障害等を理解した上で、在宅看護で行われる援助の方法を中心に学びます。また、在宅看護を支える社会資源の種類やその活用方法を実際に調べながら理解し、援助に活かせるように学びます。地域での療養生活がスムーズに送れるための、退院支援・継続看護や他職種連携におけるマネジメントの必要性和在宅ケアチームでの看護師の役割を考えます。	1	30	○		看護師実務経験者
27	地域・在宅看護論方法論Ⅰ	在宅療養者や家族・介護者の日常生活を総合的に理解し、在宅で求められる看護技術を基礎看護学で学んだ内容をもとに深めます。援助の基本のひとつである看護過程は、在宅の特徴を理解しながら展開します。その上で、実際に援助できるように在宅で求められる看護技術、特に医療処置を必要とする療養者や家族・介護者に対する援助方法を演習を含め学びます。	2	45	○		看護師(訪問看護師)実務経験者
28	地域・在宅看護論方法論Ⅱ	在宅療養者や家族・介護者の日常生活を総合的に理解し、在宅で求められる看護技術を基礎看護学で学んだ内容をもとに深めます。援助の基本のひとつである看護過程は、在宅の特徴を理解しながら展開します。その上で、実際に援助できるように在宅で求められる看護技術、特に医療処置を必要とする療養者や家族・介護者に対する援助方法を演習を含め学びます。	1	15	○		看護師(訪問看護師)実務経験者
29	成人看護学概論	人間のライフサイクルの中で、もっとも長い成人期は、大きく青年期、壮年期、中年期に分けられます。それらの成人期にある人は、それぞれ身体的、精神的、社会的特徴をもちます。成人期にある人の特徴や生活と健康や疾病、障害がお互いどのように影響するのかを学びます。成人期の理解、生活と健康、健康問題や機能障害と生活などについて考えを深め、看護師の役割を学びます。	1	15	○		看護師実務経験者
30	成人看護学方法論Ⅰ	慢性疾患をもつ対象への看護活動について、考え方の基本となる原理と理論について説明し、事例を解きながら看護実践のための方法論を学びます。呼吸、内分泌・代謝、腎機能、肝機能障害を抱える対象における看護学的に必要な情報や看護問題を解決するために必要なアセスメントや看護計画、援助の方法等を学びます。	1	60	○		看護師実務経験者
31	成人看護学方法論Ⅱ	急性・回復期の健康段階にある対象への看護活動について、考え方の基本となる原理と理論について説明し、事例を解きながら看護実践のための方法論を学びます。消化、循環機能障害を抱える対象における看護学的に必要な情報や看護問題を解決するために必要なアセスメントや看護計画、援助の方法等を学びます。	1	30	○	○	看護師実務経験者
32	成人看護学方法論Ⅲ	リハビリテーション期の健康段階にある対象への看護活動について、考え方の基本となる原理と理論について説明し、事例を解きながら看護実践のための方法論を学びます。脳・神経、運動機能障害を抱える対象における看護学的に必要な情報や看護問題を解決するために必要なアセスメントや看護計画、援助の方法等を学びます。	1	30	○		看護師実務経験者
33	老年看護学概論	身近な高齢者の生活史の聞き取りや高齢者の模擬体験などを行い、高齢者の特徴と健康生活を学んでいきます。また、高齢社会の現状や倫理的な問題をとおり、高齢者の医療や福祉について考え、老年看護に期待される役割や支援のあり方を学びます。	1	30	○		看護師実務経験者
34	老年看護学方法論Ⅰ	健康障害をもつ高齢者の生活機能を整えるケアを安全や安楽、自立を考えた個別性の高い老年看護を学びます。また、地域で暮らす高齢者と支える家族についても学べるように施設見学や介護家族の体験談を含め、老年看護の場の広がりや必要に応じ看護業務の適用範囲を拡大していく方向性も理解できる内容としています。	1	30	○	○	看護師実務経験者
35	老年看護学方法論Ⅱ	高齢者に特有な疾患や病態を理解し、高齢者や家族への看護や予防・指導教育の必要性を看護過程の展開を通して学びます。専門基礎分野である「疾患と治療」を履修した上で、老年看護学の専門性を学びやすくしています。また、老年看護に用いられるセルフケア理論やエンパワメントの概念などを活用し、看護過程を展開していきましょう。	1	30	○		看護師実務経験者
36	老年看護学方法論Ⅲ	高齢者に特有な疾患や病態を理解し、高齢者や家族への看護や予防・指導教育の必要性を看護過程の展開を通して学びます。専門基礎分野である「疾患と治療」を履修した上で、老年看護学の専門性を学びやすくしています。また、老年看護に用いられるセルフケア理論やエンパワメントの概念などを活用し、看護過程を展開していきましょう。	1	15	○		看護師実務経験者

37	小児看護学概論	成長発達過程にある子どもと家族を理解し、子どもと家族を尊重した看護を実践するための基礎的能力を養う。	1	30	○		看護師実務経験者
38	小児看護学方法論Ⅰ	この授業では、子どもに多い疾患や特有な症状を理解し、健康を障がいされた子どもと家族に対する看護について学びます。	1	30	○	○	小児科医師 看護師実務経験者
39	小児看護学方法論Ⅱ	この授業では、妊娠・分娩・産褥期および新生児にみられる異常と起こりうる問題と、健康状態のアセスメントと看護について学びます。また、ハイリスク状態にある対象の看護展開と保健指導の必要性について学びます。	1	30	○		看護師(小児科看護師)実務経験者
40	母性看護学概論	母性看護を実践するうえでの考え方や方向性を理解するために、母性看護の基礎となる概念を学びます。また、母性を取り巻く社会の現状や母性看護の対象を理解し、次世代の健全育成のための看護を学びます。	1	30	○		看護師・助産師実務経験者
41	母性看護学方法論Ⅰ	妊娠・分娩・新生児・産褥期の正常経過を学びます。そして、対象を統合体として捉え、看護過程の展開方法を学びます。また、母性看護に必要な保健指導や看護技術が習得できるよう演習を行う。	2	45	○	○	看護師・助産師実務経験者
42	母性看護学方法論Ⅱ	妊娠・分娩・新生児・産褥期の正常経過を学びます。そして、対象を統合体として捉え、看護過程の展開方法を学びます。また、母性看護に必要な保健指導や看護技術が習得できるよう演習を行います。	1	30	○	○	看護師・助産師実務経験者
43	精神看護学概論	この授業では現代社会における精神保健や精神看護のニーズの高まりを知り、精神科医療の動向や現状について学ぶ。そして精神に障害をもつ人々やその家族が抱える生きにくさを理解するために、精神疾患・障害とその治療の歴史の変遷や法制度を学ぶことで精神看護学の現状と課題理解を深める。	1	15	○		看護師実務経験者
44	精神看護学方法論Ⅰ	精神看護の基本技術や精神に障害をもつ人とその家族の生活を支える看護について学習します。	1	30	○		看護師実務経験者
45	精神看護学方法論Ⅱ	この授業では精神障害の診断と分類、治療を学び対象の理解を深めることで、精神に障害のある方が地域で生活する際の自立支援にも関連づけて学べるよう精神障害のある方への関わりや看護を学びます。	1	30	○	○	精神科医師 看護師実務経験者
46	健康診断と保健指導	個人・集団の健康増進やしっぺい予防の為の行動変容を促す理論やモデルを活用し、保健指導の企画・実施・評価の一連のプロセスを修得する。また、様々なライフステージにおける健康教育のあり方及び健康診断時に確認される観察内容について学びます。	1	30	○		看護師実務経験者
47	専門職連携教育	患者は疾患や障害により様々な苦悩や生活上の不便さを抱えながら日常生活を送っておりその多くは病院や自宅・介護施設などを往来している。どこにいても必要なケアが切れ目なく受けられるような継続性が重要となる。その中で、「暮らしの場」で異なる専門職が対象の情報やかかわり方の方向性・ゴールを共有しながら協働していくという多職種連携の関係を作り意図的に行っていくことが重要でありここでは、他の専門職の専門性を理解し多職種との連携方法を学びます。	1	30	○		看護師実務経験者
48	周術期と看護	周術期は術前・中・後の全期間を含み、各ライフステージでの手術の適切な時期・リスク、手術後の経過は異なる。また、手術を受ける患者は手術の種類・目的・術式・緊急か計画的かによって手術に臨む姿勢も変化する。患者・家族は治療に期待する一方で、手術による機能低下や障害、予後への不安をかかえている。看護師は手術侵襲による生体の回復過程を理解し、科学的根拠に基づき安全・安楽が確保される援助をする必要がある。在院日数短縮化のなかで、術前から退院後の患者の生活の質の維持・向上のためにも外来や地域の病院、家庭や生活とのつながりが重要となる周術期における看護を学びます。	1	30	○		看護師実務経験者
49	薬物と看護	薬理学で学んだ薬の知識をふまえ、各発達の視点で薬物療法を受けている患者に適切な看護が実践できる能力を養う。特に健康問題を解決するために薬物療法を受けている患者の(各発達の視点で)薬剤服薬による効果と副作用、薬物の服用方法と管理について理解する。さらにこの科目では薬物療法により変化する患者の健康状態や治療ごとの具体的な支援方法を学ぶことを目的とする。	1	30	○		看護師実務経験者
50	看護実践と法制度	これからの看護業務は法制度との関係がますます深くなり無関心ではいられなくなっている。これからは法制度を理解して責務を果たすことが求められることから、ここでは看護師が行う看護実践に必要な法制度を学ぶ。	1	30	○		看護師実務経験者
51	臨床判断と看護の実践	看護師には、ライフステージにおける健康上の患者のニーズを把握し、患者の反応によって何が重要なかを見極める臨床判断能力が求められる。この科目では「看護師のように考える」ことを目指し、看護師が臨床で患者の状態の変化に「気づき」「解釈」し、実践しながら振り返る過程を通して看護管理の概念と実践に必要な管理の基本について学び、看護サービスを提供するうえで、看護管理がどのように看護の質に影響するか考える。また、講義の学びを、統合実習等の臨地実習に繋げられるよう、施設における看護管理の実例を講義する。	1	30	○		看護師実務経験者
52	看護管理	看護管理の概念と実践に必要な管理の基本について学び、看護サービスを提供するうえで、看護管理がどのように看護の質に影響するか考える。また、講義の学びを、統合実習等の臨地実習に繋げられるよう、施設における看護管理の実例を講義する。	1	15		○	看護師(管理者)実務経験者
53	看護研究	1年次の「看護研究と基礎」で学んだ研究の一般的知識を想起し、研究をまとめることで今後の看護実践を研究的な態度で行う能力を養う。看護実践で学んだ看護体験を客観的に振り返り、看護理論や文献を活用しながら看護の専門性や独自性を追求し自己の看護観の基盤を形成する。また、論文作成・発表・評価を通して思考力・判断力・表現力を高めることを目指す。	1	30			
54	災害看護	災害発生は突然起こりひとたび起こると人々の健康・生活に大きな影響を与え通常の医療体系では対応できず特殊な医療・看護が必要になる。災害の種類特徴を理解し看護職が果たすべき役割と行政・地域の支援体制などを教授し災害急性期から慢性期・回復期に至る災害サイクルに沿った看護を理解する。基礎知識を利用し学生自身が災害発生時にトリアージや応急処置について実施することができる。	1	15		○	看護師実務経験者
55	医療安全	医療安全の基本的な考え方を学び、看護業務に潜むリスクとその対策について学ぶ。医療安全と倫理および医療事故に対する法的問題については、看護師の責務と倫理について関係法規や過去の医療事故をもとに学ぶ。	1	30	○	○	看護師実務経験者
56	基礎看護学実習Ⅰ	対象の生活の場を理解し、原理原則に基づいた日常生活援助が実施できる。	1	30	○	○	看護師実務経験者
57	基礎看護学実習Ⅱ	対象を総合的に理解し、看護過程の展開を実施する能力を養う。	2	60	○	○	看護師実務経験者

58	地域・在宅看護論実習Ⅰ	在宅療養者とその家族が暮らす「地域」というコミュニティを知り、その地域特有の文化や地域活動の実際を、ボランティア活動を通して体験する。その中で、医療者として、「地域共生」を目指し、自助、互助について考えを深め、多職種連携・協働する方法を理解する。	1	30	○		看護師実務経験者
59	地域・在宅看護論実習Ⅱ	地域コミュニティの中で在宅療養生活を送る対象の様々な価値観を理解し、QOLの維持・向上を考えた日常生活援助・支援を看護の実際を体験する。学生は、療養者の話を傾聴しながら感性を磨き、知識を絡めて体験を経験に変える指導と学生の看護観が更新できるよう、一人ひとりの学生のレディネスを捉えた丁寧な助言を行う。	1	30	○		看護師実務経験者
60	地域・在宅看護論実習Ⅲ	訪問看護ステーション並びに通所リハビリテーションの指導者、スタッフのもとで学生指導を行う。在宅実習では、療養者並びに複数に及ぶ様々な世代、生活背景の家族の介護力のアセスメントや、心情に触れるアセスメントとも多く、若い世代の学生には困惑することも多いと考え体験を経験につなげるよう講義内容を想起し、学びにつなげ感性にも働きかける。	2	90	○		看護師実務経験者
61	成人看護学実習Ⅰ	回復期にある対象の特徴を理解し、看護に必要な知識・技術・態度を習得し、健康回復に向けた看護実践ができる能力を養う。	1	45	○	○	看護師実務経験者
62	成人看護学実習Ⅱ	慢性期・終末期にある対象の特徴と家族を理解し、看護に必要な知識・技術・態度を習得し、症状の緩和、QOLの向上に向けた看護実践ができる能力を養う。	2	90	○	○	看護師実務経験者
63	老年看護学実習Ⅰ	健康障害をもつ老年期にある対象を総合的に理解できる能力を養う。	2	90	○	○	看護師実務経験者
64	老年看護学実習Ⅱ	老年期にある対象を総合的に理解し、対象と家族の望む生活を考えた継続性のある看護が実践できる能力を養う。	2	90	○	○	看護師実務経験者
65	小児看護学実習	さまざまな健康レベルにある子どもと家族を取り巻く環境及び成長発達を捉え、子どもと家族に寄り添う看護を展開する能力を養う。	3	135	○	○	看護師実務経験者
66	母性看護学実習	母性のライフサイクルにおける特徴を捉え、母性看護に必要な知識・技術・態度を統合し、保健指導を含めた基礎的能力を養う。	2	90	○	○	看護師実務経験者
67	精神看護学実習	精神障害をもつ対象を理解し、精神の健康回復、社会生活に適応できるための援助について学ぶとともに、自己洞察できるための能力を養う。	2	90	○	○	看護師実務経験者
68	統合実習	看護チームの一員として、対象に主体的に援助できる看護実践能力を養う。	2	90	○	○	看護師実務経験者
			68	科目	82	2565	